

児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【保護者用】【公表】

親子通園 みのり

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				特別な日などですごく多い場合は狭く感じるが通常は充分の広さ。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	95%		5%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境(※1)になっているか。また、特性に応じ、設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	95%	5%			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	95%	5%			室内はとてもきれいで安全面もちゃんとされていると思う。きれいな空間と適度な広さでよいと思います。
適切な 支援の 提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画(※2)が作成されているか	100%				
	2 児童発達支援計画は、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	95%			5%	
	3 児童発達支援計画に沿った、支援が行われているか	95%	5%			
	4 活動プログラム(※3)が固定化しないよう工夫されているか	95%			5%	季節に合ったものをやったりしているので良いと思う。色々な内容のプログラムがあり、カレンダーの予定表をもらうのが楽しみです。
	5 児童発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等と交流する機会があるか	65%	15%	5%	15%	定期的に訪問してくれている。先生とも交流し支援に役立っている。
保護者 への 説明等	1 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	2 児童発達支援計画の、内容の説明がなされたか	100%				
	3 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※4)等)が行われているか	65%	20%		15%	
	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	95%	5%			
	5 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	95%	5%			いつも些細なことでも相談にのって下さり、ありがとうございます。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見
保護者への説明等 (続き)	6 保護者同士の連携が支援されているか	50%	25%	15%	10%	
	7 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか	55%	15%		30%	
	8 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	95%			5%	
	9 定期的にホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信されているか	75%			25%	
	10 個人情報の取扱いに十分注意されているか	95%			5%	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	55%	20%	5%	20%	
	2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35%	10%	20%	35%	訓練に参加したことはない。口頭の説明は1回あった。週に1度の利用のため実行できていない。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	90%			10%	とても楽しみにしている。毎回楽しみにしており、行きたくないと言ったことは一度もありません。
	2 事業所の支援に満足しているか	100%				これからも充実したプログラムを楽しみにしています。先生方にはとても丁寧かつ熱心に対応して頂き、すごく感謝しています。

【チェック項目の欄に関する注釈】

※1「本人にわかりやすい環境」とは

この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※2「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」とは

児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※3「活動プログラム」とは

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4「ペアレント・トレーニング」とは

保護者が子どもの行動を観察して行動を理解し、特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。